

資料室便り

交通専門図書館
交通経済研究所資料室

交通経済研究所資料室で収集・保管している資料をご紹介します。交通に関心のある本誌読者のみなさまの一助となれば幸いです。

新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）

『現代旅行のアーキテクチャ』

——パッケージツアーの構造とその変化』

野口洋平著／晃洋書房発行／2021年2月／A5判／194ページ／3,630円（税込）

本書は、観光・ホスピタリティの研究者（杏林大学准教授）が、日本で海外旅行が自由化された1960年代中頃からOTA（Online Travel Agent）登場前の1990年代後半までの海外パッケージツアーを対象に、製品アーキテクチャ論を用いて分析したものである。製品のイノベーションと製品の構造や特性の関係に着目する製品アーキテクチャ論で分析することで、旅行業者とサプライヤーの間に資本関係などがあればユニークな特徴を持つことが可能となること、擦り合わせの妙で製品の完成を競うインテグラル型を強めれば模倣を防ぐことが可能となること、利便性や確実性、経済性や合理性が高いためフルパッケージ型ツアーが長く存在していることなどが明らかになる。

目次：パッケージツアーの構造とその変化を分析する／海外パッケージツアーの構造と特徴／製品アーキテクチャのダイナミズム／日本における海外パッケージツアーの変遷／製品アーキテクチャ論から見たパッケージツアーの分析視点と競争の焦点／ほか
古森 □

『「小さな鉄道」の記憶』

——軽便鉄道・森林鉄道・ケーブルカーと人びと』
旅の文化研究所編／七月社発行／2020年11月／四六判／288ページ／2,970円（税込）

明治期に入り大都市を結ぶ幹線鉄道の拡張・国有化が進む一方、地方では明治43（1910）年の軽便鉄道法公布を機に、より低規格で安価な軽便鉄道が整備されていった。これらは、古来の人力・牛馬による人やモノの行き来を代替するものであり、人車鉄道や馬車鉄道などを経て動力化しながら敷設されていく。そして昭和期のモータリゼーションにより、その役目をほぼ終えることとなる。本書では軽便鉄道を中心テーマとしながらも、単に列車や駅といった装置だけではなく、そこに介在する「人びと」に焦点を当てることで歴史としての記憶を掘り起こしている。

目次：道の文化史（神崎宣武）／街道と鉄道（高木大祐）／産業の振興と軽便（山本志乃）／魚梁瀬森林鉄道の人びと（中村茂生）／朝鮮の軽便鉄道（松田陸彦）／満洲の熊岳城温泉と軽便鉄道（高媛）／寺社詣でとケーブルカー（三輪主彦）／ほか
原 □

新着情報（2021年3月分）

*資料室で入手した主要図書をお伝えします。

記事の構成：書名、編著者名、発行所、発行年月

<和 書>

- 1 数字でみる北海道の運輸 令和2年版 北海道運輸局監修 北海道陸運協会 2021年2月
- 2 数字で見る四国の運輸 2020 国土交通省四国運輸局監修 四国運輸研究センター 2021年3月
- 3 MaaSが都市を変える——移動×都市DXの最前線 牧村和彦 学芸出版社 2021年3月
- 4 尊厳なきバリアフリー——「心・やさしさ・思いやり」に異議あり！ 川内美彦 現代書館 2021年2月
- 5 交通学研究 第64号——都市地域交通の社会的便益再考 日本交通学会編 同会 2021年3月
- 6 改訂交通計画学 金子雄一郎、有村幹治、石坂哲宏 コロナ社 2021年4月

- 7 中国メガプロジェクト——科学技術で製造大国から製造強国へ 趙憶寧著, 古屋順子訳 科学出版社東京 2021年1月
- 8 ケースで読み解くデジタル変革時代のツーリズム 島川崇, 神田達哉, 青木昌城, 永井恵一 ミネルヴァ書房 2020年11月
- 9 現代旅行のアーキテクチャー——パッケージツアーの構造とその変化 野口洋平 晃洋書房 2021年2月
- 10 地域創造の国際戦略——地方と海外がつながるレジリエントな社会の構築 藤原直樹編 学芸出版社 2021年2月
- 11 マーケティングを活用した港まち再生と観光開発——第2 ゴールデンルート瀬戸内「創造的内海」 松本英之 大阪公立大学共同出版会 2020年10月
- 12 戦時下の地下鉄——新橋駅幻のホームと帝都高速度交通営団 枝久保達也 青弓社 2021年2月
- 13 地域における鉄道の復権——持続可能な社会への展望 宮田和保, 桜井徹, 武田泉編 緑風出版 2021年3月
- 14 貨物鉄道読本 「旅と鉄道」編集部編 天夢人 2021年2月
- 15 鉄道高速化物語——最速から最適へ 小島英俊 創元社 2021年2月
- 16 「小さな鉄道」の記憶——軽便鉄道・森林鉄道・ケーブルカーと人びと 旅の文化研究所編 七月社 2020年11月
- 17 北海道の森林鉄道 松野郷俊弘 22世紀アート 2021年2月
- 18 命の救援電車——大阪大空襲の奇跡 坂夏樹 さくら舎 2021年1月
- 19 ヨーロッパ鉄道の旅——この1冊で鉄道の旅がよく分かる 地球の歩き方編集室編 ダイアモンド・ビッグ社 2021年1月
- 20 全日本鉄道旅行地図帳 2021年版 小学館クリエイティブ編 同社 2021年3月
- 21 内航海運概論 畑本郁彦, 古荘雅生 成山堂書店 2021年1月
- 22 アメリカ航空産業の現状と今後の展望——COVID-19と日米欧の航空業界 運輸総合研究所ワシントン国際問題研究所編 同法人 2021年3月

書庫のなかから (所蔵資料の紹介)

『日本鉄道史』

鉄道省／1921年／3冊(上・中・下編)

日本国有鉄道には各種年史が存在するが、本書と「資料室便り」の連載開始時に紹介した『日本国有鉄道百年史』は、国鉄の全体を取り扱った代表的な記録である。明治時代末期の17私鉄の国有化完了後の1908年から資料収集が開始され、1921年に刊行された。鉄道創業時代／官私鉄道並進時代／鉄道国有時代に分けられ、国鉄の規模が大きくなった50年について記述している。当時の年史のスタイルは「年誌的」が一般的であり、本書も基本的には同様であったが、「歴史書」としての記述の試みもなされている。

なお、資料室では、交通・鉄道にかかわる年史や企業史を収集・保管し、調査・研究資料として提供している。かつて所蔵文献の一部を本誌で紹介したが(2015年10月号)、リストの最初にあげたのが、本書『日本鉄道史』である。土方□

交通経済研究所資料室のご案内

交通経済研究所では、交通に関する調査・研究を目的とされている方へ所蔵資料の一部を公開しています。利用方法の詳細につきましては、私どものホームページをご覧ください。

一般財団法人 交通経済研究所 資料室

住 所：東京都台東区上野7-1-1

郵便番号：110-0005

電話番号：03-3841-4165

ファックス：03-3841-4859

URL：<https://www.itej.or.jp/>

最寄駅：JR／東京メトロ 上野駅から徒歩3分

【お願い】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として各種対応を行っています。来室のさいには、マスク着用および手指消毒にご協力をお願いします。

担当：土方規義 古森崇史 原祥太 田邊由佳